

科目名		建築施工 I			
担当教員		仁多見 透		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		工事契約～基礎地業工事までを中心にその基礎知識を学ぶ。 建築の施工管理における基礎知識を習得することを目的としている。 テキストに沿って授業を進める。建築一般構造と建築材料と重複する部分が多いので整合性が持てるように指導していく。			
学習目標 (到達目標)		2級建築士の建築施工科目の基礎知識を習得する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		やさしい建築施工 (学芸出版社) 配布資料			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	<b>【工事契約】</b> ・建築に関わる人々と工事の流れ・工事請負契約書 ・工事請負契約約款・仕様書			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P6～P13を自宅学習として予習する。 習得目標：工事契約と契約約款内容について理解する。	
2	<b>【積算】</b> ・工事費の構成 ・工事費の算出 ・数量積算			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P14～P18を自宅学習として予習する。 習得目標：工事費の構成と各種工事の算出法を理解する。	
3	<b>【施工計画】</b> ・施工計画 ・施工計画書 ・工程計画			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P19～P24を自宅学習として予習する。 習得目標：施工計画書の内容と工程計画について理解する。	
4	<b>【施工管理】</b> ・品質管理 ・工程管理 ・安全管理 ・原価管理 ・環境管理			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P25～P34を自宅学習として予習する。 習得目標：工事管理者と工事監理者の業務内容を理解する。	
5	<b>【地盤調査】</b> ・地盤調査の種類 (サウンディング、平板载荷試験)			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P35～P37を自宅学習として予習する。 習得目標：ボーリング、原位置試験、土質試験を理解する。	
6	<b>【測量】</b> ・直接仮設工事の測量 ・各種測量			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P38～P44を自宅学習として予習する。 習得目標：各種測量法について理解する。	
7	<b>【仮設工事】</b> ・共通仮設 ・直接仮設 ・作業床 ・仮設通路 ・はしご道 ・災害防止措置			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P45～P49を自宅学習として予習する。 習得目標：共通仮設と直接仮設 (足場の基準) を理解する。	
8	<b>【土工事】</b> ・根切 ・埋戻し ・排水 ・山留			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P50～P56を自宅学習として予習する。 習得目標：山留・支保工及び排水工法について理解する。	
9	<b>【基礎地業工事】</b> ・基礎 ・杭			学習方法：講義形式とする。 準備学習：P57～P64を自宅学習として予習する。 習得目標：主に杭地業の工法について理解する。	
10	No.1～No.4 (評価テスト) No.5～No.9 (期末テスト)			評価テスト及び期末テストにおいては2級建築士学科試験に出題されるレベルの知識を問うテストを実施する。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末テスト	評価テスト	出席状況		建築施工は建築士試験の主要科目である。 又、施工管理を目指す学生はしっかりと基礎知識を習得してほしい。	
50 %	40 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建設会社にて建築施工管理技術者として16年勤務			